

じんけん 権 を考える Part2

平成30年度活動報告 ～市民一人ひとりの人権が尊重された 心豊かな地域社会を目指して～

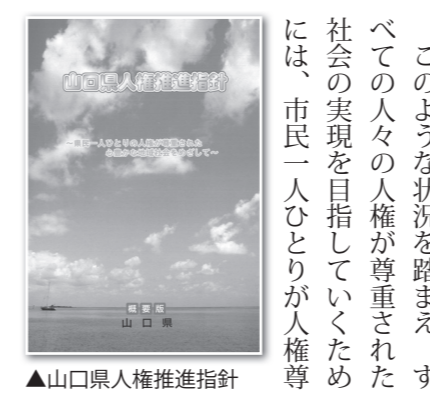
■生涯学習スポーツ振興課生涯学習係 TEL 23-1259

市では、「長門市人権教育推進委員会」を中心として、市民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向け、地域に密着したきめ細かい人権教育・人権啓発活動を推進しています。

すべての人権課題の解決に向けて

今年度は、「山口県人権推進指針」に掲げられているすべての人権課題の解決に向けた取組を念頭に、人権教育セミナーと人権フェスティバルにおいて幅広く人権課題を扱うことで啓発に努めました。

本市においても、さまざまな人権課題が幅広く存在しており、社会の変化などによって、人権に関する新たな課題もみられるようになりました。



▲山口県人権推進指針

このような状況を踏まえ、すべての人々の人権が尊重された社会の実現を目指していくためには、市民一人ひとりが人権尊重の理念について正しく理解し、日常生活において人権への配慮がその態度、行動に表れるような人権感覚や、人権の大切さに気付く豊かな感性を育むことが大切です。

本市では身近にある人権課題の現状把握や課題解決に向けた具体的な対策について研修を深めるため、各種人権教育セミナーや人権フェスティバルの機会を活用して、積極的に市民への啓発に取り組んでいます。

第1回 長門市人権教育セミナー

- 開催日 7/25(水)
- 場所 長門市立図書館
- 参加者 約150人

柳井地区広域消費生活センターの岡本浩司さんを講師として、「ネットトラブル事件簿」子どもたちを加害者にも被害者にもしないためのポイント解説



▲岡本さんが「ネット」をテーマに講演

「～という演題での講演を行いました。」

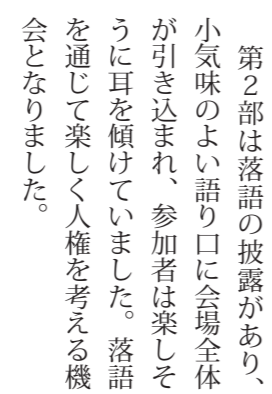
近年、大きな社会問題となっているインターネットに関わる問題において、その危険性や落とし穴、対策などについて具体的な事例をもとにわかりやすく話され、会場に詰めかけた参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。

【参加者の声】
▼現在、子どもたちが置かれている環境を具体的に示していただき、知らない情報を把握することができました。今後の子どもたちへの指導に役立てていきたいと感じました。

▼ネットモラルを子どもだけでなく、大人も身につけていくことが大切であると思いました。

プロウのゆかいな人権問題(動物の親子のふれあいから学ぶ人権問題)という演題での講演を行いました。獣医師免許を持つ異色の落語家として、第一部では動物の習性や生き方、子育てを例に挙げながら、人間社会の中で人権を尊重し合うことの大切さを豆知識や小話を織り交ぜながらわかりやすく話されました。

第2部は落語の披露があり、小気味のよい語り口に会場全体が引き込まれ、参加者は楽しそうに耳を傾けていました。落語を通じて楽しく人権を考える機会となりました。



▲人権の花感謝状贈呈式

【参加者の声】
▼さすが落語家の方で、楽しみながら聴くことができました。腕を失くして、協力し合って生活するゴリラの話も、とても印象的でした。生で初めて落語を聴くことができ、とてもよい時間を過ごすことができました。

【参加者の声】
▼合唱の歌声、子どもたちの意見発表はとてもすばらしかったです。会場を飾る絵手紙も心が温かくなりました。「幸せは気付くもの」、とても印象深い言葉です。日々の生活を振り返り、また新たな気持ちで生活を送りたいと思います。感動的なセミナーをありがとうございました。

【参加者の声】
▼講演会はとても楽しく、命の大切さを改めて考えさせられました。自分も家族にとっても支えられていると感じました。



▲「絵手紙」優秀作品の表彰



▲講演する石川さん



▲ビデオフォーラム後の意見交換会

山口県人権啓発活動地域ネットワークによる「人権の花」「人権作文」の表彰の後、落語家の林家卯三郎さんを迎え、「ウサ

長門市人権フェスティバル

- 開催日 11/10(土)
- 場所 ラポールゆや
- 参加者 約170人

今年度はすべての人権課題の解決を目指した取組に力を入れることとしており、ビデオでは「同和問題」、「SNSにおける問題」、「高齢者問題」、「外国人問題」など多種多様な課題について考えた。参加者は、現存する多様な人権課題にふれながら、「人権尊重」の実現に向けて真剣に意見を交わしていました。

【参加者の声】
▼人権というと「同和問題」というふうにはか思っています。ですが、私たちの身の回りにはいろいろな「人権」について考える機会となりました。参加してよかったと思いました。

【初めに人権教育セミナーに参加しましたが、ビデオで学習する形式はとてわかりやすくよい勉強になりました。一番印象に残ったのは「スマートフォン」の使い方でした。自分にも置き換えやすい内容であったため、自分自身、今後の使い方の見直しに役立てようと思いました。